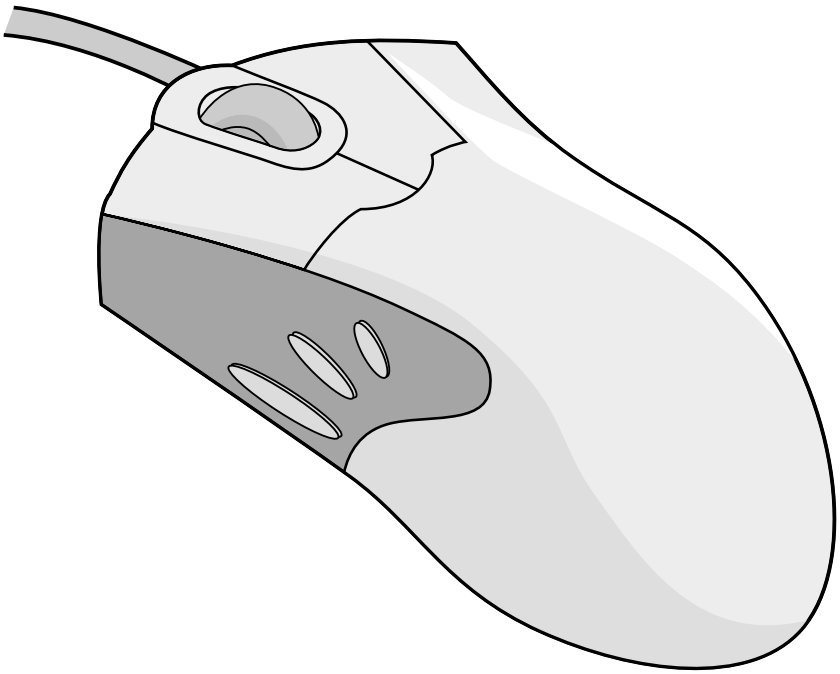
SANWA SUPPLY

プログラマブルマウス
取扱説明書



プログラマブルマウス

最初にご確認ください。

セット内容

- ●プログラマブルマウス…… 1台
- ●ドライバディスク(3.5") …… 1枚
- ●変換アダプタ（PS/2-シリアル） …… 1個
- ●取扱説明書 …… 1部

ご使用前にこのマニュアルをよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できる様にしておいてください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。

サンワサプライ株式会社

FCC警告

本製品は、FCCの定めるクラスBのコンピュータ機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。
FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものですが、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。
ご使用のコンピュータシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることでご確認いただけます。電源を切ることにより受信障害が解消されれば、ご利用のコンピュータ、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。
ご使用のコンピュータシステムがテレビやラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを組み合わせてお試しください。
●テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してみてください。
●テレビ/ラジオから離れた場所にコンピュータを設定し直してください。
●テレビまたはラジオをとは別の電源供給路にあるコンセントにコンピュータを接続してください。

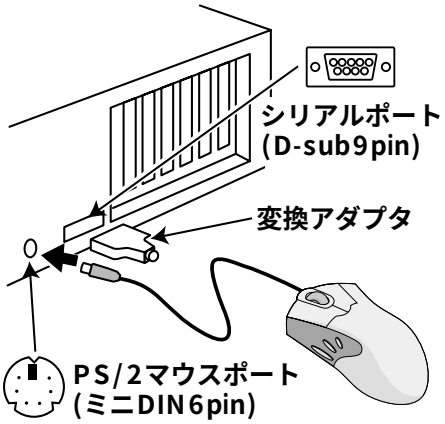
マウスの接続

■対応機種

本製品には、下記のハードウェア、またはソフトウェア以上のものをご使用ください。
●各社DOS/Vパソコン（CPUはペンティアム以上）
●PS/2ポート（ミニDIN6pin）もしくはシリアルポート(D-sub9pin)を持つ機種
●OSはWindows98、Windows95及びWindowsNTに対応

■マウスの接続

1.コンピュータの電源を切ってください。
2.コンピュータに接続されているマウスが他にもあれば、取り外してください。
3.コンピュータ背面のPS/2マウスポート(ミニDIN6pin)もしくはシリアルポート(D-sub9pin)にマウスを接続してください。
4.接続の際、コネクタには上下がありますので注意してください。
5.電源を入れてください。



※一部の富士通FMVノート、IBM ThinkPadなどポインティングデバイス内蔵の一部のノートパソコン（排他制御機能のないタイプ）及びNEC PC98-NXデスクトップパソコンなど（USBキーボードにPS/2マウスポートが付いているパソコン）には、シリアルポート接続により対応しています。
※赤外線・内蔵モデムを持つノートパソコンにマウスをシリアル接続される際はノートパソコンのCOM1ポートをあける様に設定してください。詳細の設定の方法については、パソコンのマニュアルをご覧ください。

PS/2またはシリアルポートの接続が完了したら、Mouse Suite 98インストールへ進んでください。

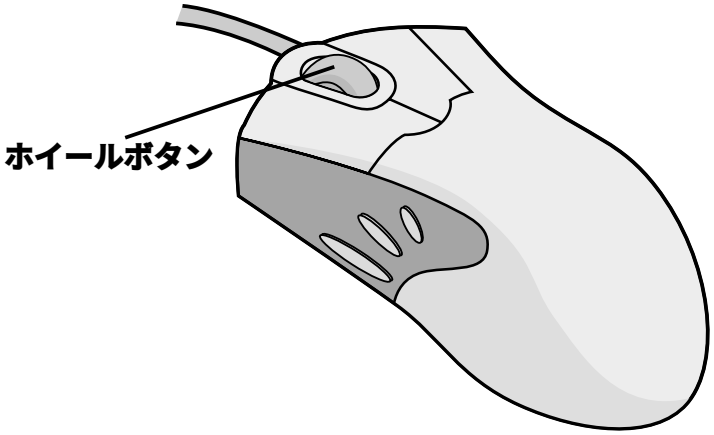
■Mouse Suite （マウススイート）98のインストール

マウスを接続したら、Mouse Suite 98のソフトウェアをインストールしなければなりません。下記の指示に従って、Mouse Suite 98をインストールしてください。

Windows 98、Windows 95、Windows NT:
1.Windowsを起動させ、Mouse Suite 98用インストールのソフトウェアをドライブに入れてください。
2.「スタート」ボタンを選択し、「ファイル名を指定して実行（R）」を選択してください。
3.A:\Setupを入力し、OKを選択してください。
4.画面の指示に従ってください。

インストールが完了したら、Mouse Suite 98のコントロールパネルにアクセスできます。

ホイールボタンの使い方



ホイールボタンは、使い方が二通りあります。
●ホイールを回転することでホイールとしての機能を果たします。（以下ホイール）
●ホイールをクリックすると、ボタンとしての機能を果たします。（以下ホイールボタン）

注意：Microsoft Office 97用アプリケーションと互換性がない場合、ユニバーサルスクロールを使用にすると、スクロール機能が使用可能になります。

スクロール
マウスに付いているホイールは、ほとんどのスクロールバーのあるアプリケーションで使用可能です。

●マウスでスクロールする場合は、マウスのホイールを前後に回転させてください。

オートスクロール
オートスクロール機能によりホイールを使うことなく、自動的にドキュメントをスクロールできます。

●ドキュメント内でオートスクロールを使用する場合、オートスクロール用のホイールボタンをクリックしてください。カーソルの先端にオリジナルマーク⊕が現れますので、オリジナルマークからカーソルを八方に移動させてください。オリジナルマークから長い距離を移動すればするほど、スピードは速くなります。オートスクロールをやめたい場合は、マウスのボタンをクリックするかまたはホイールをクリックしてください。

ズーム
Microsoft Office 97用アプリケーション（例：Microsoft Office 97）のなかには、ズーム機能がついている物もあります。このズームを使ってページを拡大・縮小することができます。

●拡大する場合Ctrlキーを押しながら、マウスホイールを前方に回転してください。
●縮小する場合はCtrlキーを押しながら、マウスホイールを後方に回転してください。

Mouse Suite 98のコントロールパネル

Mouse Suite 98のマウスコントロールパネルにより色々な機能が使用できるようになります。

マウスコントロールパネルを立上げる場合、下記に従ってください。

●Windowsタスクバーに表示されているマウスアイコン をダブルクリックしてください。
または、
Windowsのスタートボタンを左クリックし、設定（S）の中のコントロールパネル（C）を選択してください。コントロールパネルの中のマウスアイコンを選択してください。

マウスプロパティのタブ

Mouse Suite 98は、マウスプロパティで使用したいタブをクリックすると、色々な機能を使う事ができます。

「ボタン」の設定
ボタンページを開くとマウスボタンの機能のカスタマイズができます。初期設定は以下で説明しています。

●左ボタン：第一マウスボタン
●右ボタン：コンテキストメニュー
●ホイールボタン：クイック/オートスクロール
●サイドボタンA：スタートボタン
●サイドボタンB：ダブルクリック
●サイドボタンC：ハイパーグリッド

マウスの設定を変えたい場合、下記に従ってください。

●ボタンの設定を変えたい場合、マウスイメージの中にあるボタンをクリックしてください。または、「ボタン（B）」リストの中からボタンを選択してください。選択したボタンがボタンリストとマウスアイコンの中に出ます。そして、「機能（F）」リストからボタンの機能を選んでください。（最低一つのボタンをメインマウスボタン（第一マウスボタン）の設定にしてください。）
●マウスボタンの機能を初期設定に戻したい場合、「デフォルト値を使用（D）」をクリックしてください。

ボタンの設定を確定する場合、「適用（A）」をクリックして下さい。

■ 拡大鏡

マウスボタンを拡大機能として選択すると、クリックするだけでカーソルの周辺が拡大されます。

●「ボタン（B）」の中からボタンを選択してください。そして、拡大機能を可能にするため、ファンクションリストの中から「拡大鏡」を選択してください。「設定（S）」の機能で拡大のサイズを調節することができます。最後に「適用（A）」をクリックしてください。拡大機能がマウスのクリックで実行可能になります。

■ ハイパーリンク

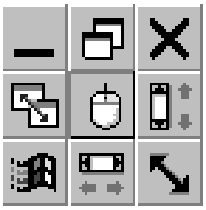
マウスボタンをハイパーリンクとして選択すると、クリックするだけでアプリケーションまたはドキュメントを簡単に開くことができます。

●「ボタン（B）」の中からボタンを選択してください。ファンクションリストに入っていないドキュメントまたはアプリケーションを選択したい場合、ファンクションリストの中から「ハイパーリンク」を選択してください。次に、「設定（S）」をクリックしてください。「参照（B）」をクリックし、適切な登録したいアプリケーションを選んでください。選択した機能を確定する際は、「OK」をクリックして最後に「適用（A）」をクリックしてください。ハイパーリンク機能がマウスのクリックで実行可能になります。

■ ハイパーグリッド

ハイパーグリッドには9つのWindows機能があります。この9つの機能は1つの画面上で選択できるので1クリックで簡単に使用できます。

●上記の手順と同じように、マウスボタンをハイパーグリッド機能として選択してください。ハイパーグリッドの使用の際は、ハイパーグリッド機能を割り当てたマウスボタンを押しっぱなしにしておくとグリッドが現れますので、ボタンを押したまま選択したいアイコンまでカーソルを移動させボタンを放してください。



■ その他の機能

ボタン割り付け機能の一覧
●後退
●ウインドウを閉じる
●コントロールパネル
●コピー（Ctrl+C）
●コンテキストメニュー
●切り取り（Ctrl+X）
●ダブルクリック
●ドラッグロック
●Enter
●Esc
●F1～F12
●ウインドウズの最大化
●マウスの中央ボタン
●ウインドウズの最小化
●マイコンピュータ
●ハイパーグリッド
●次のウインドウ
●ページを下へ
●ページを上へ
●貼り付け（Ctrl+V）
●第一マウスボタン
●プリンタ
●クイック/オートスクロール
●ゴミ箱
●Ctrl+A
●ウインドウズを元のサイズに戻す
●スタートボタン
●インターネット
●元に戻す（Ctrl+Z）
●エクスプローラー
●ハイパーリンク
●拡大鏡

ダブルクリック

ダブルクリックの機能で、アプリケーション上でのダブルクリックに対する反応の速さを調節することができます。

●ダブルクリックのスピードを調節する場合、スライダーをクリックアンドドラッグで左右に移動させてください。左側に移動させると速度は遅くなり、右側に移動させると速くなります。マウス操作に慣れていない方は、バーを左側に移動させると、ダブルクリックの速度は遅くなるので、使い易くなります。
●「デフォルト値に戻す（R）」をダブルクリックするとスピードの設定をリセットすることができます。
●ダブルクリックのスピードを試したい場合は、テストエリアにあるアイコンをダブルクリックしてください。

確認は、「適用（A）」をダブルクリックしてください。

方向

この機能で、一番使い易いマウスのポジションを設定することができます。

●「方向の設定（S）」をクリックするとマウスの位置の設定画面が出てくるので、これに従ってください。
●位置の設定を初期設定の戻す場合は「方向の設定をリセット（R）」をクリックしてください。

確認は、「適用（A）」をダブルクリックしてください。

裏面7ページに

ホイール

ホイールの設定で、スクロールとホイールのボタンの設定ができます。

■ ホイール（W）

Mouse Suite 98はMicrosoft Intellimouseと互換性があります。Intellimouseのエミュレーションを選択すると、ホイールのスクロール機能はMicrosoft Office 97と互換性のあるアプリケーションのみ使用できるようになります。

●Microsoft Intellimouseのエミュレーションを使用したい場合は、「Microsoft Office 97 スクロールエミュレーションのみを使用（M）」を選択し「適用（A）」をクリックしてください。

Mouse Suite 98には「ユニバーサルスクロール機能」があり、ほとんどのアプリケーションのスクロールバーに使用できます。（例：WordPerfect 97, Netscape Navigator 3.0, Microsoft Office 95）しかし、ユニバーサルスクロール機能を選択している場合、マウスはIntellimouseの拡大・縮小機能が使えなくなります。この機能を使いたい場合は、「例外（X）」ボタンを選択し、アプリケーションを指定してください。

●「ユニバーサルスクロール機能」を使用可能にする場合は、ホイールの中にある「ユニバーサルスクロールを使用（E）」を選択し、「適用（A）」をクリックしてください。

●拡大・縮小機能を使用可能にしたいアプリケーションを指定するために、ホイールにある「例外（X）」ボタンを選択してください。次に「追加（A）」ボタンをクリックしてください。そして、指定したいアプリケーション名をプログラムパスに入力してください。「参照（B）」ボタンで追加するアプリケーションを選択することができます。確認は「OK」をクリックしてください。指定したアプリケーションを削除したい場合、「削除（R）」をクリックし「OK」で確認してください。

■ ホイールボタン（B）

「ホイールボタン（B）」でマウスのホイールボタン機能の変更ができます。

●「クイック/オートスクロールコントロール（O）」を選択すると、クイックスクロール/オートスクロール機能が使えます。
●クロール/オートスクロール以外の機能をホイールボタンに割り付けしたい場合は、「ボタン機能（U）」をクリックしボタンファンクションリストが表示されます。このリストの中から機能を選択し、「適用（A）」をクリックして確認してください。

■ スクロール速度（C）

「スクロール速度（C）」でホイールボタンのスクロールスピードの調節ができます。

●「スクロール（O）［　　］ライン/ノッチ」を選択し、1行から20行までのスクロールの幅の調節ができます。矢印でスクロールの幅の調節を行ってください。
●「1ノッチにつき1画面をスクロール（N）」を選択すると、スクロールは1画面ごとにスクロールされます。

スクロールの方向を逆にしたい場合、「スクロール方向を逆転（V）」にチェックを入れてください。

ホイールの設定を確認する場合「適用（A）」をクリックしてください。

ポインタユーティリティ

ポインタユーティリティを開くと、ポインタラップ、ポインタを隠す、ソナー、スローモーション、X焦点、オートジャンプの機能を設定することができます。

●ポインタユーティリティの機能を使用可能にするために、どれかにチェックを入れ「適用（A）」をクリックしてください。

■ ポインタラップ（W）

「ポインタラップ（W）」を使用可能にすると、ポインタを画面のはしに移動したとき自動的にカーソルが画面の反対側に現れます。

■ ポインタを隠す（V）

「ポインタを隠す（V）」を使用可能にすると、タイピング時カーソルが消えます。マウスを移動させると自動的に画面にカーソルが現れます。

■ ソナー（O）

「ソナー（O）」の機能で簡単にカーソルの位置が確認できます。Ctrlキーを押すと、ソナー機能が使用可能になります。この機能は他のCtrlキーの機能を干渉しません。

■ スローモーション（S）

Shiftキーを押しっぱなしにすると、カーソルを一時的にゆっくり移動させることができます。この機能は他のShiftキーの機能と干渉しません。

■ X焦点 （X）

タイトルバーにカーソルを移動するとウィンドウを開くことができます。ウィンドウを切り替えるとき、クリック無しで行えるので大変便利です。

■ オートジャンプ（J）

「オートジャンプ（J）」を選択すると、ダイアログボックスを開いたとき、カーソルが自動的にデフォルトボタンに移動します。

Mouse Suite

Mouse Suite のページは、色々なオンライン製品サポートのリンクまたはアンインストールとタスクバーマウスアイコン機能があります。

■ オンライン製品サポート

●お問い合わせはMouse Suite のページにあるE-mailリンクをクリックしてください。
●Mouse Suite のアップデートドライバをダウンロードする場合、当社Webサイトに行き、ダウンロードできます。

■ アンインストールユーティリティ（U）

Mouse Suite をアンインストールする場合、「アンインストール（U）」ボタンをクリックし画面に出てくる指示に従ってください。

■ マウスアイコンをタスクバー上に表示（S）

●Mouse Suite のアイコンをWindowsタスクバーに追加したい場合、「マウスアイコンをタスクバー上に表示（S）」にチェックマークし、「適用（A）」をクリックしてください。

メンテナンス

カーソルが正しく動かない場合、下記に従ってマウスの掃除をしてください。
マウスの掃除をする際は、パソコンの電源を切っておこなってください。

●マウスのボールカバーを左周りに回してボールカバーを取り外し、ボールを取り出し掃除をしてください。
●きれいな布でボールの汚れをふき取り、マウスのなかのゴミを吹き出してください。
●ローラが汚れている場合は、綿棒にアルコールを含ませてふき取ってください。綿棒のかすがローラーについていないかどうか確認してください。
●ボールをもとに戻し、ボールカバーを時計回りに回して、取り付けてください。

テクニカルサポート

Mouse Suite 98インストールが上手くできない場合、テクニカルサポートスタッフまでご連絡下さい。問題解決に万全を尽くします。

電子メールでの連絡　：info@sanwa.co.jp

ホームページへの連絡：http://www.sanwa.co.jp

どちらもMouse Suite 98のマウスコントロールパネルに入っています。